

<p style="text-align: center;">実践システム設計 (Practical System Design)</p>		<p style="text-align: center;">4 年・通年・2 学修単位(β)・必修 電子制御工学科 担当 島岡三義, 福山 広</p>
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)</p>	<p>〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (80%), D-2 (20%)</p>	<p>〔JABEE 基準〕 (d-2c), (e), (h), (i)</p>
<p>〔講義の目的〕 電子制御工学科における総合科目として位置付け、小型自立型ロボットの開発、設計、製作をグループで取り組み、協調性、創造性、問題解決能力を養い、成果発表をすることを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕 自立型小型ロボットの製作に必要なプログラムの基礎の学習、ならびに PIC 回路の学習後、ロボットの機構、動作のアイデアを練り、設計、製作組み立てを行い、試運転での問題点を解決し、学科内ロボットコンテストを行う。コンテストは、今後徐々に実用化されていくレスキュー関係のテーマ設定を行う</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 グループでロボット製作を行うことから、グループとしての連係を密にし、各人の役割、知恵の結集が重要であり、自ら積極的に提案、討議、実行する事が大切である。</p>		
<p>〔到達目標〕 アイデアに富んだ、素晴らしいロボットを完成させる事が目標であるが、このためには、各種の問題を解決する必要がある。問題解決のための手法を学び、グループの結束力を高めることを目標とする。</p>		
<p>〔自己学習〕 目標を達成するには、授業以外にも学習を怠らないこと。また、十分に準備して授業に臨むこと。</p>		
<p>〔評価方法〕 システム設計の教科に如何に積極的に取り組んだかが重要であるが、基本的には下記の評価基準で評価する。 試験 (10%), ロボットコンテスト成績点 (50%), プレゼンテーション (20%), 授業への貢献・積極性 (20%) などを総合して評価する。</p>		
<p>〔教科書〕 特になし。必用に応じてプリントを配付する。</p> <p>〔補助教材・参考書〕 各種カタログならびに取り扱い説明書</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕 専門教科のすべてが関係する。さらには、まだ授業を受けていない内容も必要になる場合があるが、チャレンジ精神を大いに発揮して、素晴らしいマシンの完成を望む。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	自立型ロボットの概要	本講義の意義ならびに目的に付いて説明する。	
第2週	プログラム作成実習	ライントレースプログラム実習	
第3週	プログラム作成実習	ライントレースプログラム実習	
第4週	コンテストの検討	今年度のコンテスト（レスキュー）のアイデアを検討する	
第5週	コンテストの検討	今年度のコンテスト（レスキュー）のアイデアを検討する	
第6週	コンテスト内容提案	今年度のコンテスト内容のアイデアを全員に発表	
第7週	コンテストテーマ討議、決定	提案された中から2～3テーマを選定し、全員で討議後決定する。	
第8週	各班でのロボットアイデア	決定されたテーマに対して、各班でのロボットの構想を練る。	
第9週	各班でのロボットアイデア	決定されたテーマに対して、各班でのロボットの構想を練る。	
第10週	各班でのロボットの決定	各班で討議の後、製作するロボットを決定する。	
第11週	各班でのロボットの詳細検討	各班のロボットアイデアについて教員からのコメントを提示する。	
第12週	ロボットの設計、仕様書	ロボットの概略図、仕様書を作成する。必要物品を発注する。	
第13週	ロボット製作、部品加工	製作部品の部品図の作成、部品加工を行う。	
第14週	ロボット製作、部品加工	製作部品の部品図の作成、部品加工を行う。	
第15週	ロボットの製作、部品加工	組立図の作成、部品加工を行う。	
前期期末試験			
第16週	ロボット製作、回路	部品加工、センサーの選定を行う。	
第17週	ロボット製作	部品加工、インターフェース回路設計を行う。	
第18週	ロボット製作	部品加工、インターフェース回路設計を行う。	
第19週	ロボット製作	部品加工、インターフェース回路設計を行う。	
第20週	中間発表会	ロボットの動作や製作過程等の発表を行う。	
第21週	ロボット製作	ロボットプログラムの作成、部品加工、電子回路製作を行う。	
第22週	ロボット製作	ロボットプログラムの作成、部品加工、電子回路製作を行う。	
第23週	ロボット製作	ロボットプログラムの作成、部品加工、電子回路製作を行う。	
第24週	ロボットの組み立て	ロボットの組み立てをする。	
第25週	ロボットの組み立て	ロボットの組み立てをする。競技場の製作	
第26週	ロボットの調整	ロボットの動作調整を行う。競技場の製作	
第27週	テストラン	テストランを行う。	
第28週	ロボットコンテスト	ロボットコンテストを開催する。	
第29週	製作発表会	プレゼンソフト使って、各班の製作の発表会を行う。	
第30週	データ整理	各班でのデータ整理をし、ファイルに綴じる。	
学年末試験テスト返却・学力補充期間			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)